

【資料を読み取る力】

問い一 石川さんが話してくれた外来種は、何種類でしょう。

六
---

種類 ①

正答 ※ カギ括弧で括られている生き物の名前を読み取り、「六つ」の外来種を選んで

いれば正答。算用数字で書いた児童については、縦書きなので、漢字を使うことを指導する。

誤答 ※ 正答以外の数を書いている。数字は、誤答。

(例) 「ミシシippアカミミガメ」(ニミドリガメ)を別の種類と考えて「七つ」と書いている。

無答 ※ 記述がない。

問い二 次の表は、石川さんが話してくれた外来種についてまとめたものの一部です。AとBに当てはまるものをあとの①～④より選んで記号を書きましょう。

A	か
B	え

②

③

正答 ※ 表の縦と横とを読み、正しく記号を書いている。

誤答 ※ 別の記号を書いている。

無答 ※ 記述がない。

【資料を解釈する力】

問い三 「在来種を保護する取組」についての資料はどれでしょう。【資料二】から、二つ選び記号で書きましょう。

オ	ク
---	---

④

正答 ※ 「在来種を保護する」というキーワードを探し、正しく記号を書いている。

誤答 ※ 別の記号を書いている。

無答 ※ 記述がない。

問い四 次の【構成メモ】を参考に、【資料一】・【資料二】を見て、六つの【条件】を満たし

て、「外来種を駆除くじよするべきだ」という意見か、「在来種を守るべきだ」という意見の意見を書きましょう。

【指定された文字数で意見文を書く力】 ⑤

- |    |                          |
|----|--------------------------|
| 正答 | ※ 三六〇字以上、四〇〇字以内で書いている。   |
| 誤答 | ※ 三六〇字未満、または、四〇〇字を超えている。 |
| 無答 | ※ 何も書いていない。              |

【注意】 三六〇字を満たしていない場合、または、無答の場合、⑤以降の問題は、正しく答えていても、「無答」とすること。

四〇〇字を越えて誤答の場合は、⑥以降の採点対象とすること。

【資料を活用して書く力】 ⑥

- |    |  |
|----|--|
| 正答 | ※ 第二段落に、「ア」・「イ」・「ウ」のどれか、第三段落に、「エ」・「オ」・「カ」・「キ」・「ク」のどれかの資料の記号を入れて、自分の意見を書いている。 |
| 誤答 | ※ 資料は選んでいるが、意見と整合がとれていない場合。  |
| 無答 | ※ 【資料一】から第二段落に、【資料二】から第三段落に選んでいない場合。   |
| 無答 | ※ 一つも資料に触れずに記述している。  |

【段落を構成して書く力】 ⑦

- |    |   |
|----|---|
| 正答 | ※ 四段落で記述されており、それぞれの段落で書き出しの一字下げができています。 |
| 誤答 | ※ 四段落以外の場合。                             |
| 無答 | ※ 書き出しの一字下げがあっても、その後（第二〜第四段落）の改行がない場合。  |
| 無答 | ※ 改行があっても、一字下げがされていない場合。                |
| 無答 | ※ 段落が全くない。                              |

【根拠を明確にして書く力（非連続テキストの使用）】 ⑧

- |    |  |
|----|--|
| 正答 | ※ 第二段落に、選んだ資料の数値を根拠にして、自分の考えを書いている。<br>（「パーセント」が記号の場合は、許容する。テスト後、指導のこと。） |
| 誤答 | ※ 数値が間違っている。（数字が漢字で表記されていない場合は、許容する。テスト後、指導のこと。）                         |
| 無答 | ※ 数値を根拠にしたとは思われないような記述の場合。   |
| 無答 | ※ 数値がない。   |

【根拠を明確にして書く力（引用）】 ⑨

- |    |                                       |
|----|---------------------------------------|
| 正答 | ※ 第三段落に、選んだ資料の部分引用を根拠にして、自分の考えを書いている。 |
| 誤答 | ※ 引用した部分と自分の考えとが繋がっていない。              |
| 無答 | ※ 引用していない。                            |

【筋道立った構成で書く力】⑩

- |    |                                     |
|----|-------------------------------------|
| 正答 | ※ 第四段落に、「中」の根拠にふれた記述のある「終わり」になっている。 |
| 誤答 | ※ 「終わり」が「始め」の繰り返しになっている。            |
| 無答 | ※ 「終わり」がない。                         |

【解答例】

【資料一】ア  
【資料二】ク

① わたしは、在来種を保護すべきだと考えます。

資料アによると、横浜市の水生生物の中で外来種のしめる割合は、年々増加していて、二〇一一年には、十四パーセントになっています。外来種のしめる割合が増えているということは、在来種のしめる割合が減っているということです。このままでは、外来種が増え、在来種が減っていきます。ですから、外来種から在来種を守っていかねばなりません。

資料クによると、小笠原諸島では、くつ底の土やバックのポケット、衣類に植物の種がついているかどうか確認して上陸させているそうです。外来種を持ちこまないことが、在来種を外来種から守ることにつながると考えます。

このように、外来種を日本に持ちこませないことで、在来種を保護していくべきだと考えます。(二八四字)

②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

【資料一】イ  
【資料二】カ

① ぼくは、在来種をおびやかす外来種を、くじよするべきだと考えます。

資料イによると、伊吹山頂周辺の在来種のタンポポは、年々減り続けています。ところが、外来種くじよをおこなったら二・六パーセントだった在来種が、六・九パーセントに増加しているのです。これは、外来種のくじよで、在来種が増加することを表しています。

資料カによると、ある市では、農作物を荒らすアライグマを捕かくしたそうです。そして、これからも、捕かくを続ける予定だそうです。こうやって、外来種のくじよを計画的に続けられれば、どんどん在来種は増えていくと考えます。外来種をくじよするのはかわいそうだななどと言っている場合ではないのです。

以上のように、外来種を計画的にくじよすることは、在来種を守るために、すぐになければならないことだと考えます。(三七七字)

②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳